

佛教大学広報誌

B-ism

佛教大学

NO.11

B-ism No.11

発行日
2015年(平成27年)12月18日

発行者
田中 典彦

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 紫野キャンパス

留学生たちの、佛教学部

- 2 巻頭特集 | スペシャル座談会
- 6 B-ism 研究報告 | 教育学部 教育学科 青砥 弘幸 講師
- 8 学生編集室の窓 | 「いのり」で見つめる地域の暮らし 民俗学研究会「佛性寺民俗調査」調査報告展
- 10 「密着！看護研究ゼミ(老年看護学)教員・研究紹介」 保健医療技術学部 看護学科 松岡 千代 教授 / 濱吉 美穂 講師 / 後藤 小夜子 助教
- 12 オープン・フィールド 海外語学研修「B.U.L.A. 集中講座」
- 13 オープン・フィールド 沖縄平和スタディーツアー
- 16 クラブ・サークル見聞録 | 空手道部、競技かるた部
- 17 「Favorite」先生のお気に入り | 社会福祉学部 社会福祉学科 緒方 由紀 教授 「マントリンと大学時代の楽譜」
- 18 輝き Close Up 活躍する学生たち
- 19 「Listen」UP BOG 訪問
- 20 Hot TOPICS 大学の動向
- 22 B-Information みんなの掲示板



巻頭特集 | スペシャル座談会
Special CROSS TALK

国際交流センター長
中原健二 教授 // 司会・進行

社会福祉学部 社会福祉学科 4 回生

大学院 社会科学研究科 社会学専攻 課程 1 回生
シチゴックチャム

科目履修生

張 弁青

留学生たちの、 佛教学部

現在まで、本学では多くの留学生が学んできた。出身国も多様で、その学びも仏教にとどまらず、文学、歴史、社会学、社会福祉など多岐に渡る。留学生にとって、佛教学部はどのような大学に映るのか、また、本学での経験をどう活かそうとしているのか。中原健二国際交流センター長進行の下、3人の留学生に語り合ってもらった。

魅力と課題、今までどここれから――

それぞれの学びに 邁進中 サポート制度は 心強い

中原健二(以下、中原)

それではまず、自己紹介をお願いします。自己紹介を願っていますか？

トウチ(以下、トウ)

2005年に中国から日本にやって来ました。留学の目的は、社会福祉の勉強です。佛教学部に入学する前は、福

岡県の福祉の専門学校に通っていましたが、約10年間、日本で学んでいます。日本と同様、中国の高齢化もどんどん進んでいます。日本の福祉の考え方や方法論を習得して、自国の助けになればと考えています。

シチゴックチャム(以下、チャム)

ベトナムのホーチミン市から来ました。ベトナムで日本語を勉強しながら、3年前に交換留学生として

佛教学部に入学しました。日本語を勉強するきっかけは、日本の文化、特にドラマや漫画が好きだったから。その後、佛教学部での研究生を経て、大学院に進学し、今は日本における外国人女性労働者の問題について研究しています。

張 弁青(以下、張)

昨年の9月から半年間交換留学生として佛教学部で学んでいました。現在は科

目履修生として、テレビをはじめとした日本のマスメディアを専門的に勉強しています。卒業した台湾の慈濟大学でも、マスメディアについて勉強していたんですが、実は留学以前に、東日本震災の被災地を訪問したことがあるんです。その際に放送局や新聞社を見学し、日本の報道姿勢などを知って、現地で学びたいと思いました。

中原 皆さん留学の目的が明快ですね。でも、なぜ佛教学部で学ぼうと考えたんですか？ また、皆さんにとって本学の魅力とは何ですか？

トウ 専門学校時代に、より深く社会福祉を学ぶならどこが良いだろうかと探していたときに、日本人の友人から勧められたんです。実際に研修や実習、先生方の教えも含めて、以前より



1950年生まれ。1973年京都大学文学部中国文学科卒、80年同大学大学院博士課程満期退学。小樽商科大学、高知大学での教職を経て、1990年より本学に赴任。現在、文学部中国学科教授。2015年より副学長、国際交流センター長を務める。

中原健二

NAKAHARA KENJI

人間の結びつきが、真の国際化につながる

中原 では今後、佛教大学での学びをどう活かしていきますか？ 皆さんの夢を聞かせてください。

チャム 日本での就職を希望しています。貿易や教育関連など、ベトナムと関係のある企業で通訳を務めて、母国と日本の架け橋になりたいという夢があるんです。張 大学院に進学して引き続き勉強をして、将来的には台湾の放送局や新聞社に

勤めて、日本のいろんなことを、台湾の人に伝えたい。そしていつの日か、日本駐在の特派員になりたいんです。日本、台湾の報道や放送に関する良い点を活かして、時には反面教師にしながら、理想的なマスメディアのあり方を追求していきたいですね。

トウ 大学卒業後は、日本の老人ホームに就職したいと考えています。こちらのノウハウを持って、母国に施設を作るのが夢です。中国では、ようやく富裕層向けの施設が整い始めたばかり

り。でも、そのような営利目的ではなく、人権を一番に尊重するようなホームを提供したいと考えています。

中原 素晴らしいですね。最後に、日本で学ぶ皆さんに私からお願ひがあります。ぜひとも、日本の良い面はもちろん、良くない面も含めて、経験したことを自国の家族や友人に伝えて欲しいんです。そして、日本の本当の姿を知っている人を増やしてはくれないでしょうか。国は時の政府によって変わりますが、そこに住む人間の本質は不変。同様に、国と国の関係も不

シチゴックチャム

SHI CHI NGOC TRAM



ベトナム出身。2012年4月～2013年3月にHUFLIT大学(ベトナム)より交換留学生として在籍。その後、研究生を経て、2015年4月に大学院社会学研究科社会学専攻修士課程へ入学。

確かですが、人間同士なら一番確かな情報が伝わりやすい。個人間の結びつきのもとの情報を発信し、違いを認め合いながら相互の理解が深まれば、時間はかかりますが真の国際化、グローバル化に発展します。皆さんの経験の範囲で構いません。「日本はこうだ」と決め付ける必要はなく、「私の喜らした日本、私の会った日本人はこうだった」で良い。ぜひ、実践してください。

交流だけ。互いに多くの誤解もありますが、本当のグローバル化を実現するためにも、私の見た日本を中国に伝えます。

張 台湾はよく親日と言われますが、歴史問題もあり、全員がそうではありません。文化や民族のことを、実は各々よくわかっていない。マスコミを志す人間として、しっかりと伝えていきたいと思ひます。

トウ 今言われているグローバル化は、単に経済の

中原 よろしくお願ひします。今日はどうもありがとうございました。

B-ism

2015 December



中国出身。2012年に社会福祉学部社会福祉学科へ入学。現在4回生。

トウチ

DOU ZHI

さらに意義のある勉強ができています。

チャム 私は交換留学の期間が終わるときに、指導を受けていた先生から、引き続き佛教大学で学んではどうかとアドバイスされたんです。日本の文化や社会のことをもっと突き詰めてみたいと考えていたので、留学継続を決めました。

張 佛教大学の魅力は、良い意味でコンパクトな点ですね。キャンパスもそれほど大きくはないし、学生の数も多くはないけれど、おかげで勉強に集中しやすい

環境になっている。日本語の授業もあるし、生活の相談にのってくれる先生の存在も心強いですね。

チャム 交換留学生にとっては、チューター制度が嬉しいですね。チューターは私たちと一緒に授業を受けて、解説してくれる日本人の学生なんです。自国で日本語を勉強してきたと言っても先生の話し方によっては、理解できないこともあったので、助かりました。彼らと友だちになれて、交友関係の輪も広がりましたね。留学生寮の国際交流会館「知

日本人学生との交流希望 授業で受けたインパクトとは

中原 授業や先生からの教

えで、印象に残っていることはありますか？

トウ 介護の実習授業で、観察の大切さを教わりました。専門学校では自分の介護のやり方を示すこと、つまり、考察が大事だと言われてきましたが、まずはしっかりと対象者を見て丁寧に記録を取らなければ、考察はできないのだと気づかされました。また、海外では医療の専門知識がなければ、福祉のボランティアができない国もありますが、日本は知識や経験がなくても大歓迎なんです。その精神は凄い。日本の社会福祉が発展した要因だと感じました。さらに、日本の福祉精

張卉青

CHANG HUI CHING



台湾出身。慈濟大学(台湾)より2014年9月～2015年3月まで交換留学生として在籍。現在は科目履修生。

神は、施設やサービスを利用する人間だけではなく、家族や親戚、友人までサポートの対象になる。その点も素晴らしいですね。

中原 日本人学生との交流はどうでしょう？

張 最もインパクトを受けたのは、日本の報道姿勢に関する事柄です。留学前は、日本のメディアは真実のみを報道すると聞き、とても感銘を受けていました。でも、必ずしもそうではない現状があると。嘘もあるし、隠していることもある、と先生から教えられ、もっと学ばなければならぬという思いを強くしました。

チャム 大人数での授業だと、話す機会はありませんが、小規模なゼミではチャンスがあった。実際はチャンスがなかった。寮でのパーティーに参加してくれる人もいますよ。

張 週一回英会話を習う課外授業も、出会いの場になっています。でも、もっと積極的に話しかけてきて欲しいという気持ちはありますね。一緒に勉強すれば、お互いに良い効果があると思います。

「笑いが、授業を磨き、子どもを育てる」

「ユーモアと教育」という未知の分野に挑む

教育学部教育学科 講師 青砥 弘幸



教鞭をとる多くの先生が、笑いのエッセンスを盛り込んだ、楽しい授業をしたいと考えている。でも、いざ実践となると、難しい。どんな冗談が有効なのかわからないし、方法論も確立されていない。青砥弘幸先生の研究は、日本の教育に、まったく新しい指針を与えようとするものだ。

4つ目が、ユーモア能力の育て方。子どもたちに、スキルをどう身につけさせるかも重要なテーマだ。

日本では対象外、カナダでは現場で実践

青砥先生が研究に目覚めた学生時代、笑いやユーモアは、日本の教育学では調査対象外だった。「いくつかの言説はありましたが、学術的なテーマとして認知、蓄積されていなかった。『ふざけるのは良くない』といった日本的な教育観や、会話の技術として重視されてこなかったことなどが、市民権を得られなかった要因ではないでしょうか。」

ならばと、まずはユーモアと教育について論じた国内外の先行研究の洗い出しと整理を行った。すると、北米の方では、研究はもうろん、教育の現場ですでに実践までされていた。「北米では、ユーモアを、他者とのコミュニケーション



ユーモアと教育を4つの視点で究める

小学生の頃、お笑い芸人を夢見ていたという少年は、今や「笑いの研究」のパイオニア的存在だ。専門は「ユーモアと教育」。笑いやユーモアを切り口に、より良い授業・教育のあり方を模索している。「先生が授業中におも

しろい冗談を言うことで、生徒の注意を引きつけたら、生徒をリフレッシュさせたりすることができません。どんなユーモアが授業に対する理解を深めるのか、また、子どもたちのユーモア的な感性を養うにはどんな指導が最適なのか、考えています。」

教師と生徒のユーモアセンスが、教室の人間関係・雰囲気づくりに与える影響を調査している。2つ目は、ユーモアと授業。授業にどのように笑いを取り入れれば、子どもの学びの効果を高められるか、だ。3つ目は、ユーモアのある教材、例えば落語やとんち話の教材としての可能性はいかなるものか、を探っている。

において有効なスキルだと認めている。カナダの学校には、笑いについて学ぶ単元があるほどです。実際にカナダの大学にも赴き、膨大な資料を収集。前述の4視点を含めた分析結果を、博士号の学位論文に著し、研究に確かな道筋を立てた。

日本人の若者は笑いを操るのが苦手?

さまざまな論題に挑んでいる青砥先生。ユーモアのある教材については、「人間は、固定観念や自身

の価値観にズレが生じたときに驚いたり、面白く感じるんです」として、そのような構造を持つ作品の選定と分析を開始。国語授業での実用化に向けていこうとしている。「日本の教師は、悲話や感動的な話に比べ、笑い話



(左から)「国語科教育改善のための『教育ユーモア研究』」(学位論文、2011年)、日本笑い学会の学会誌『笑い学研究』

を教材とした授業があまり得意ではないようです。後者でなければ身につかない能力もある。」その能力の一つ、子どものユーモア的な感性の育成に関しては、本学学生へのアンケートからヒントを得た。「冗談を、仲

の良い人との関係強化のために積極的に活用するが、新しい人間関係を構築する際に用いるのは苦手にしている」との傾向に加え、「プライベートな場面での使用は得意だが、あらたまったスピー

チや討論でユーモアを操る力、自信が不足している」事実が浮き彫りに。不足を補い、自信をつける指導法の確立が課題だ。**危険性も加味してカリキュラムの提案へ**

一方で、「人を傷つけることも当然ある」と、ユーモアの持つ危険性にも言及する。ユーモアの誤った使い方によって、いびつな上下関係、差別意識が生じる可能性を示唆し、相手や場面、状況に配慮した使い方の大切さを説いている。「危険性という点では、ユーモアが逆に授業をわかりにくくすることもありえる。冗談話が邪魔をして、子どもの理解効率を悪くしてしまっただけの本末転倒というわけだ。「この点は、学生にも常に言っています。ユーモアの発信が目的になってはいけない、あくまでもより良い授業のための方法でなくてはならないのです。」



青砥 弘幸(あおとひろゆき) 1981年、岡山県生まれ。広島大学卒業、広島大学大学院教育学研究科修士課程修了、同博士課程修了。博士(教育学)。小学校、中学校講師、就実大学専任講師を経て、2014年より本学専任講師。専門は国語科教育学、ユーモア学。直近の論文に「『ユーモア的構造』に着目した文学教材分析の試み(1)」(佛教大「教育学部論集」第26号2015年)など。



かり。野望としては……」と、今後を語る青砥先生。「カリキュラムを提示したい。子どもの発達段階に応じた、ユーモア、笑いの指導の方向性、方法を提案したいと考えています」。未知の領域であるがゆえのやりがいも感じている。「現場の先生も必要だと認めながら、うまく使えてこなかったユーモアを、言語化、理論化することはとても意義深い。心理学や社会学の分野にも目を向けながら、深化させていきます」。



B-ism 授業のために学生が制作した教具

なうな掌話 その十六



人々の暮らしの記録『民俗志林』

民俗学研究会では『民俗志林』を発行しています。地域で行った民俗調査の結果を、報告書として一つの冊子にまとめたもので、年中行事や人生儀礼、生業から信仰に至るまで、あらゆる角度から人々の生活の有り様を描いた「民俗誌」です。これまでに7号まで発行されています。現在、佛性寺地域について執筆している最中で、会員みんなで第8号を完成させたいと思っています。

メンバー紹介

歴史学部歴史文化学科2回生

平 陽介



展示資料のなかで、最も興味深かったのは、佛性寺地域の檀那寺である如来院に所蔵されていた書状の写しや棟札などの文字資料です。如来院と、この地区の有力な神社のひとつ、天岩戸神社が深い関係にあったことがわける内容が記されていました。古代から近世末までの神仏習合について関心があるので、実物を見た時には興奮が抑えられませんでした。その一方で、図録や展示物の解説を書くうえで苦労させられたのも文字資料でした。旧字体の漢字も多く、さらに崩し字で記されたものもあったので、古文書解読辞典を参考に解説を試みたり、博物館の館長さんに教えてもらって読み進めることができました。

編集後記

今まで大きく活動を取り上げていただく機会がほとんどなかったため、執筆を担当した会員のほとんどが緊張しながら今回の記事を書きました。この機会に、一人でも多くの方に、民俗学研究会の活動と民俗学という学問の一端を知っていただくと嬉しいです。

今回、博物館での特別展示という初めての試みの中で、自分たちの調査の成果を振り返ることができました。最終目標である『民俗志林』の作成まで、これからも調査に力を入れていきたいと思っています。

B-ism

2015 December



4年間の成果をまとめて展示

この秋、民俗学研究会は京都府福知山市大江町にある「日本の鬼の交流博物館」で「調査報告展」大江山の佛性寺「まつりといのり」を10月20日から12月13日まで開きました。博物館がある大江町佛性寺地区を4年間にわたって調査した中間報告という形で企画しました。

佛性寺地区は、大江山の麓に位置し、酒吞童子伝説の地として知られています。今回の報告展は、酒吞童子の鬼伝説から離れ、村の人々のくらしを見つめてきた私たちにしかできない内容を考え、信仰とくらしにスポットを当てました。日々の生活を当てました。日々の生活に込められた「いのり」と、それを反映した「まつり」から、地域のくらしを民俗学の視点で紐解くことが目的です。信仰の形をしめす棟札や、信仰を共にする講集団で使用された掛け軸、地域の祭り「八朔祭」で実際に使用される鳥毛、人生儀礼で使われる着物や盃など、佛性寺の信仰そのもの、くらしの中に生きる信仰を垣間見ることのできるものを中心に紹介しました。



佛大 BUTSUDAI なうな NOW!

「いのり」で見つめる地域のくらし 民俗学研究会「佛性寺民俗調査」調査報告展



民俗学研究会とは

民俗学研究会は民俗学という学問を通して、会員が自分自身のスキルアップを図っている学術サークルです。民俗学とは神話や伝承、お祭りなど様々なものから人々の暮らしや想いを見つめ直すという学問です。民俗学研究会は、地域を自分の足で歩き、そこに住んでいる人から話を聞いて、調査結果を『民俗志林』にまとめることを目的としています。創部は1969年。46年の歴史のなかで会員数の減少などで衰退した時期もありましたが、現在は約20人の大所帯で活動しています。

普段の活動はというと

通常活動は週2回。京都の寺院、妖怪や都市伝説など、各々が興味を持つ分野について調べて発表しています。夏休み、冬休みなどの長期休暇には、会員が集まってフィールドワークを行っています。現在は、佛性寺地域で地元の人にお話を伺う聞き取り調査を継続しています。

先生から一言

民俗学研究会相談役 佛教大学非常勤講師

大野 啓



「物」に地域を語らせる。これが大きな課題でした。これまで目標としてきた民俗誌の作成と似て異なる作業をするようになったからです。しかも、これまで経験したことのない博物館の展示という形で。学生たちは、必ずしも物を介させない人々の日々の営みをどのよう物を通して語るのか、展示室という限られた空間でいかなるストーリーを組み立てるのかという苦悩に直面することになりました。その苦悩が産んだものは、展示や展示図録を見て判断してほしい。ただ、この展示に付き合った教員として「お疲れ様。君たちは展示に向き合うことで、成長した」という言葉を送りたいと思っています。



ある日の看護研究ゼミ

迷ったら「研究目的」に戻ろう

レポート提出まであまり時間がなくなってきたこの日、ゼミ生たちは、松岡先生に実直なアドバイスをたくさんもらっていた。読み手に伝わりやすい書き方や、評価項目の分け方など、個別にもあったが、共通した課題は「考察をどうすべきか」という点だった。

患者さんへのアプローチによって得られた結果から導き出されるものは何か、「認知機能・活動意欲が低下している高齢者に、離床や生活機能向上を意図して施したケア」が、有効だったのか否か、うまくいかなかった原因の推測や、今後の展望も含めた考察でまとめなければ看護研究は完了しない。「得た結果を、冷静に吟味する」必要があらためて問われた。「現場の看護師さんでも中々できない」という難しい作業に、ゼミ生は困惑の様子だったが、松岡先生の指示は明快だった。「まず、考察以前の「結果」が、皆の調べようとしたテーマ・目的に合致しているか、振り返りましょう」。離床のためのケアの成果が記されていない場合は、考察は不可能、ケアの経過も、当初の目的に添った事象がきちんと書けているか、もう一度確認しよう。「研究目的に戻れ」は、膨大な情報に感わされがちになっていたゼミ生にとって、まさに金言だった。



松岡 千代(まつおか ちよ) 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前・後期課程社会福祉学専攻修了。兵庫県立尼崎病院(看護師)、兵庫県立看護大学・兵庫県立大学看護学部にて勤務。博士(社会福祉学)。

書を作り上げてきた。「術後による活動意欲の量低下がみられる高齢者に対するフットケアを中心としたケアの効果について」、「急性期病院に入院する高齢者に対し、せん妄予防としての

『生活リズムを整えるケア』の有効性』など、ゼミ生が取り組むテーマは「とても興味深く、意義深い」と、松岡先生も話す。研究計画書を携えて迎えた病院での総合実践看護実習も、すべてが順調だったわけではない。相手は患者さん、人間だ。体調の変化があったり、予想していた症状が現れなかったり、想定外の状況に直面するゼミ生が少なくなかった。それでも2週間、丁寧にデータをとり、それらを蓄積。テーマの軌道修正も図りながら、今日までやってきた。あとは書くのみ、仕上げるのみ。最終的には、お世話になった病院にも届ける予

定だ。「患者さんへの介入で、ケアの効果をしっかりと確かめられた学生もいます。この成果を実際の現場で、看護師として実践してほしい」。濱吉先生は、将来に活かすことを望んでいる。後藤先生は「本当に成長した。態度、目が変わった」と喜ぶ。4年の月日で、ゼミ生たちは着実に、看護職としての技術、姿勢の何たるかを身につけてきた。「実習先の病院で、目的意識を持ち、自主的、能動的に行動している姿を見て、看護職になる覚悟が芽生えてきていると感じました」。先輩のいない1期生、指針を意識しづらい難しい立場ではあったが、後藤先生た

ちの指導、学生の頑張り、実を結ぼうとしている。7人の研究領域である高齢者を対象にした老年看護は、比較的新しい分野。松岡先生曰く「現場、ことに急性期の病院ではまだまだ老年看護の理念が行き渡っていない現状がある」。それだけに、ゼミ生への期待は大きい。「高齢者の特性を知ることが大事」と、松岡先生が本質を語れば、後藤先生は「尊敬を持って関わらなければならぬ」と、高齢者の人生背景なども踏まえた看護の重要性を説く。濱吉先生は、「身体機能が衰えていく患者さんに対して、その事実はどう気づいてもらうか、どう対処すれば精

神的に上向くか、それが引き出せるようになってほしい」と、ゼミの共通テーマである「エンパワーメント※2」にも言及した。未来の看護師たちには、看護研究の実績を積み重ね、より良い老年看護のあり方を示すことも求められている。

※2 人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っているすばらしい、生きる力を湧き出させること。



B-ism 2015 December

Professorial Seminars

密着!

看護研究ゼミ(老年看護学)



より良い看護のために 新たな知見と課題を 学生独自のテーマから導く

保健医療技術学部 看護学科

松岡 千代 教授 濱吉 美穂 講師 後藤 小夜子 助教

看護職の仕事は実は多様。「看護研究」という責務を知る人は少ないと思う。患者さんとの直接的な関わりにとどまらず、「研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する※1」ことが求められている。看護学科のゼミでは、4回生たちの「看護研究」の奮闘が続いている。



今年4月、看護学科で4回生のゼミ「看護研究」はスタートした。ゼミ生は、2012年に開設された看護学科の1期生だ。これまでの学びを軸に、学生たちは、基礎看護学や成人看護学といった看護学領域から所属ゼミを選択。そのゼミで自ら研究テーマを設定し、看護の計画書を作成。計画に基づいた病院等での実践を経て、その結果をレポートにまとめるという行程を歩んできた。松岡千代先生、濱吉美穂先生、後藤小夜子先生が担当する老年看護学を学ぶゼミ生7名も、「テーマ」、「研究方法」、「事例」、「ケア内容」、「看護の実際」、「結果」、そして「考察」と書き進め、今、最終段階に入っている。「現場の看護師さんも、担当する患者さんの症例を基に看護研究を実施します」と、松岡先生が話すように、研究は看護師にとって必須の業務。「自らの看護を振り返りながら、その対処が

良かったのか否かなどをまとめ、新たな知見や課題を見出す。自分の今後に活かすとともに、他の看護師ともその成果を共有して、より有効な看護につなげるのが目的」だ。初めて研究に挑んだ7人。「これまでの体験を言語化できないでいた」という濱吉先生の回想どおり、研究テーマの設定から、試行錯誤の連続だった。3回生までに得た課題を、先生たちと一緒に振り返りながら、研究テーマと研究計画

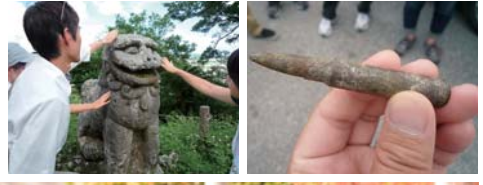
※1 日本看護協会「看護者の倫理綱領(2003年)」より。

濱吉 美穂(はまよし みほ) 大阪市立大学大学院看護学研究科後期博士課程修了。大阪市立大学医学部附属病院(看護師)・在宅看護支援センター(介護支援専門員)、兵庫県立大学看護学部にて勤務。博士(看護学)。



後藤 小夜子(ごとう さよこ) 神戸大学医療技術短期大学部卒業、梅花女子大学文学部卒業。大阪市立大学医学部附属病院(看護師)・精神科クリニック(精神保健福祉士)にて勤務。

Open FIELD 2



福祉教育開発センターシンポジウム「平和と福祉」関連企画
沖縄平和スタディーツアー
戦いの地で、感じたこと

鼎談

- 参加者(写真左から)
泉 洋一
(福祉教育開発センター 実習指導講師)
- 青木 優太**
(社会福祉学部社会福祉学科2回生)
- 林 真奈美**
(社会福祉学部社会福祉学科3回生)

戦後70年となった今年の夏、本学では「沖縄戦、その始まりから終わりまでを見る」と題し、沖縄でのスタディーツアーを実施しました。「戦争」と「福祉」は相反するものであり、福祉の発展は、「平和」の基盤があってこそ」という考えからスタートした、福祉教育開発センターシンポジウム「平和と福祉」関連企画の一つです。ツアーに参加した学生と泉洋一講師が、沖縄の戦地を巡る4日間を振り返りました。



読谷村



チビチリガマ

平和と福祉を考える時、まずは戦争を知る必要がある

泉 洋一(以下、泉)

福祉教育開発センターでは今年、「平和と福祉」をテーマに、社会福祉学部と数多くの企画を実施してきました。7月に「原爆展」、9月に「学習会」、10月には「シンポジウム」を開催。そして、70年前の戦争で、日本で唯一地上戦が繰り広げられた、沖縄へのスタディーツアーを8月に実施し、観光地化されていない戦跡を巡ったわけですが、2人はなぜこのツアーに参加したのですか？

青木 優太(以下、青木)

過去の戦争について、実地に学ぶ機会を得たかったんです。私は福岡県出身で、長崎の原爆に関しては多少の知識はありますが、沖縄の戦闘のイメージが湧かなかった。沖縄をこの目で見て、あの戦争とは何だったのかを知りたいと思っただけです。

林 真奈美(以下、林)

私は今年、安保関連法案に関するシンポジウムに参加したんですが、法案に対する私見を考えたときに、下支えする知識がないと気づいたので、「戦争には反対、でも、戦争って一体何だろう」「平和を考えるなら、まず戦争を知ら

知識の有無と情報の正誤が人々の生死を分けた

泉 米軍上陸地、激戦地、避難場所となったガマ(洞窟)などを訪れ、「鉄の暴風」とよばれた米軍の攻撃や住民の集団自決の有り様を聞いて、先々で祈りを捧げました。印象に残ったお話は何ですか？

林 読谷村では、2つのガマの話が印象的でした。チビチリガマでは88名の方が集団自決したんですが、シムクガマは、住民の中に米国や米兵の実情をよく知るハワイへの留学経験者がい

Open FIELD 1



海外研修で、不安を自信に
海外語学研修
「B.U.L.A.集中講座」

佛敎大学には、海外語学研修「B.U.L.A.集中講座」がある。佛敎大学ロサンゼルス校を拠点にしながら、語学研修やホームステイなど様々な異文化体験ができるプログラムだ。今年度、参加した山田芽依さん(保健医療技術学部看護学科1回生)に魅力や学びを語ってもらった。

後悔しなかった

佛敎大学をめざしたのは、看護学科と、海外への語学研修があったから。入学後早速、この研修に申し込んだんです。

日米の「神様」への認識の違い

異文化理解に関しても、興味深いお話を聴きました。向こうではたいていの場合、「神様を信じる」キリスト教心「だそうなんです、日本だと、神道も多くの種類があります



し、「場所」にも、「もの」にもいろんな神様がいますよね。お互いの認識の違いが面白かったです。

授業以外でも貴重な経験ができました。訪問した社会福祉施設では、障害を持つ方と遊びを通して交流し、看護師を目指す自分にとって、とても有意義な体験となりました。また、ホームレスの方が多くおられる地域を偶然通ったのですが、衝撃を受けました。明るい人が多いんです。でもそこには子どもたちもいて、悲しくなりました。いつか、何かできたら。そんな気持ちになりました。

ほかにも欧米式のマナーやお金の使い方、ネイティブが使うフレーズなど、たくさんのことを学びましたが、一番印象深かったのは、実は閉講式。研修を振り返る、2分以上の英語スピーチで、当初よりもはるかに自信を持って話せたんです！ 厳しかったア

2015年度第38回B.U.L.A.集中講座 スケジュール

●日程: 2015年8月26日(水)～9月13日(日)

| | |
|---------|-------------------------|
| 1日目 | 日本出発・ロサンゼルス到着後市内見学 |
| 2日目 | 開講式・プレテスト・マナー講座など |
| 3日目 | 英語授業 |
| 4日目 | フィールドトリップ: パサデナ見学 |
| 5日目 | デイズニールランド |
| 6日目 | 英語授業など |
| 7日目 | 異文化理解 |
| 8日目 | 異文化理解・社会福祉施設訪問 |
| 9日目 | 異文化理解 |
| 10~13日目 | ホームステイ |
| 14日目 | 英語授業 |
| 15日目 | 異文化理解・ペーパーダイナ大学研修など |
| 16日目 | 英語授業・異文化理解 |
| 17日目 | テスト(異文化理解・英語)・閉講式・パーティー |
| 18日目 | ロサンゼルス出発 |
| 19日目 | 日本到着 |

B.U.L.A.とは?

佛敎大学ロサンゼルス校の通称です。本学の建学の理念にのっとり、日米間での教育、研究、学術交流を深めることを目的として、1992年6月にロサンゼルス校のダウンタウンに隣接するリトル・トウキョウに開設されました。

ここを拠点に行っているのが、夏期の「B.U.L.A.集中講座」です。ロサンゼルス校が開校した年に始まり、20年以上の実績があります。ネイティブ教員による授業だけでなく、マナー講習や現地大学の訪問など、異文化を肌で感じることができる充実した内容です。



Open FIELD 2



社会福祉の仕事は平和そのもの

泉 2人は社会福祉専門職を指していますね。福祉の仕事は、現場で体験し考える姿勢が何より重要です。沖縄ではどんなことを学びましたか？

青木 人の手で人を破壊する、それが戦争なんです。当時を知る人が少なくなってきたという現状がある。沖縄の悲劇を、同世代に伝えていかなければならないと思います。そして、戦争とは何か、平和とは何かを改めて考えていくことが大切だと思いました。

例えば安保法案に対して、過剰に反応したり無関心であったり極端な態度をとってしまうことがある。理由は、情報を持っていないから。一時的な感情や、一方的な思想だけで判断するのではなく、自分の意見を持つために、今は冷静に情報を集め、考えるべきだと再認識しました。

泉 社会福祉専門職は、人の幸せと平和を追い求める職業です。福祉の仕事は平和そのもの。福祉も平和も、一人ひとりの幸せ、権利、尊厳を大切にするという点で同じなんです。私たちの仕事は、建学の理念にある仏教精神や法然上人の教えにもつながる共生社会の実現に寄与していますが、そのためにも平和を守る使命があるということのを、忘れずにいてください。



バクナー中将戦死地



読谷村



首里城



南風原文化センター



ひめゆりの塔



沖縄陸軍病院南風原壕跡



嘉数高地



首里城

沖縄平和スタディーツアー (主な訪問地)
日程: 2015年8月28日(金)~31日(月)

- 1日目** ● 沖縄到着
- 2日目** ● 読谷村: 米軍上陸地点・住民避難壕・旧日本陸軍飛行場跡 ● 嘉手納基地 ● 北谷町: 米軍上陸の地 ● 嘉数高地: 沖縄戦の激戦地・普天間飛行場 ● 前田高地: 沖縄戦の激戦地 ● シュガーローフ・ヒル: 沖縄戦の激戦地 ● 首里城: 第32軍(沖縄守備軍)司令部壕跡
- 3日目** ● 沖縄陸軍病院南風原壕跡: 人工壕・資料館 ● アプチラガマ: 糸数壕 ● 八重瀬岳: 沖縄戦の激戦地 ● 摩文仁: 第32軍(沖縄守備軍)司令部壕跡 ● ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館 ● 白梅之塔 ● 米軍司令官バクナー中将戦死地
- 4日目** ● 沖縄国際平和研究所: 沖縄県元知事大田昌秀氏との懇談



- 1 読谷村(米軍上陸の地)
- 2 チビチリガマ・シムクガマ
- 3 嘉手納基地
- 4 北谷町(米軍上陸の地)
- 5 嘉数高地
- 6 前田高地
- 7 シュガーローフ・ヒル
- 8 首里城(第32軍司令部壕跡)
- 9 沖縄陸軍病院南風原壕跡
- 10 アプチラガマ
- 11 八重瀬岳
- 12 ひめゆりの塔
- 13 白梅之塔
- 14 バクナー中将戦死地
- 15 摩文仁第32軍司令部壕跡



て、その方が他の住民に投降を促し、1000名近い命が助かった。

青木 知識の有無と情報の正誤が生死を分けたんですね。ガマの中で赤ん坊の泣く声がすると、敵に見つかってしまうからと、軍出身者などが殺すように母親に命じていたと聞きました。とても悲しい現実です。

林 私がもし母親で、同じ状況に置かれたら、我が子を殺めたかもしれないと思うと、悲劇が急に現実味を帯びました。

泉 「生きて虜囚(りょしゅう)の辱めを受けず」といったスローガンや戦前の思想教育もあって、自ら死を選ばざるを得なかったのでしょう。

ガイドの方が「軍民共生共死」と言っていましたね。軍人と民間人は生きるときも、死ぬとき

も一緒だという指令を、軍が発していた。沖縄戦が住民を巻き込む戦闘になった要因の一つだろうと思います。子どもたちが爆弾を背負って、敵戦車の下にもぐりこんで自爆したという話もありました。沖縄戦では、軍人以外に12万人を超える県民が犠牲となりました。他にも、軍が島民の避難した南部にまで退いてきたという事実が悲劇を



生みました。

林 沖縄守備軍の司令部が首里城に置かれ、戦場になっていった史実は知りませんでした。地下に壕までありましたよね。戦争によって、自分たちの大切になっているシンボルが壊されたという、沖縄の人の怒りは当然だと感じました。

青木 ひめゆりの塔では、今の僕と同年齢の若者の境遇に、あらためて衝撃を受けました。偽りの情報で連れて来られ、何の知識もない女学生が負傷兵の手当てをし、亡くなっていった。悲しみと怒りがこみ上げました。沖縄陸軍病院南風原壕跡には、野戦病院が再現されていましたが、粗末なベッドや医療設備に愕然としましたね。



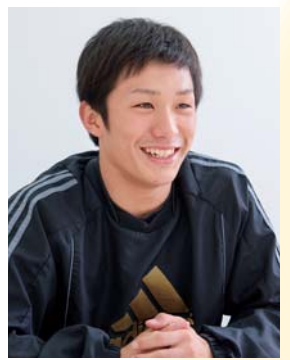
Hello!!

クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、
佛敎大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を
部員が自ら紹介、語ってくれます。

空手道部



60年の伝統を背負って
気合いを入れて練習中です!

歴史部 歴史文化学科4年生
野村暉さん

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで正式種目が検討されるなか、空手道は今とても盛り上がりを見せているんですよ。「こんな蹴りが?」「こういうようなユニークな技も多く、また緊張感ある駆け引きもあり、見ているだけでも楽しめるスポーツです。」

佛敎大学の空手道部は、今年で60周年を迎える歴史ある部です。と言っても、堅苦しい雰囲気はなく、礼儀・礼節を重んじながらも、学年の垣根を越えてアドバイスをしあえる自由な雰囲気の魅力。毎日の1時間半ほどの練習においても、各部員が高校の部活動で経験してきた練習方法を皆で試してみたり、さまざまな練習メニューを取り入れ、楽しみながら強くなることを大切に



活動日:月~金曜
活動場所:紫野キャンパス

に取り組んでいます。歴史が長い分だけ、OB・OGもたくさんいて、練習を見に来てくださることも。今年は60周年を記念して、OBの方と現役部員が一緒に型を披露する機会も予定されています。
部員数は男子10名、女子5名の15名。現部員は全員が経験者ですが、私の先輩には未経験で入部された方もいました。ここ数年は、男子の団体戦で毎年全国大会に出場できており、今の目標は全国大会で少しでも上位に進むこと。5人で一致団結して戦う団体戦はやはり面白くて、「勝てるぞー」と思うとすごく盛り上がります。今年の全国大会でも少しでも多くその瞬間を味わえるように、そして私たち4回生はこの全国大会で引退なので、後輩たちに少しでも良い結果を残せるように、気合いを入れて練習中です。

競技かるた部



「集中力」「記憶力」「瞬発力」が
バランスよく鍛えられます

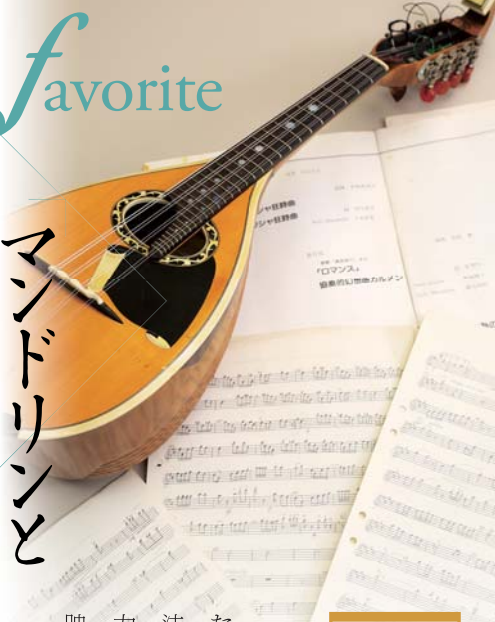
仏敎部 仏敎学科3回生
杉本光さん

誰にでも楽しめるのが競技かるたの魅力です。部員11人のうち、私を含め半分以上が経験者ですが、歌の一字一句まで覚えなくてもできるのが、初心者でもすぐに上達しますよ。性別も年齢も関係なく、幅広い方と対戦できるのも競技かるたならではのですね。練習では競技かるたに必要な3つの能力を強化しています。1つ目は「集中力」。試合は1戦につき2時間と長時間のため、学内はもちろん、他校や地域のかかるた会での練習へ合宿などで多くの実践を重ね、鍛錬しています。2つ目は「記憶力」。事前に札の位置を暗記したあと、札を裏返して対戦したり、暗記時間そのものを短くするなど工夫して鍛えています。これらの能力は普段の勉強にも役に立ちますよ。そして「瞬発力」。相手



活動日:火曜・金曜・土曜
活動場所:紫野キャンパス

よりも早く札をとる動作の練習も欠かせません。ポイントとは札が1つだけではなく、3つの能力をバランス良く有することで。指導者はいませんが、学外練習の際、対戦相手や観戦者の方と練習方法や戦略などを指南し合っています。練習後はメンバー全員でごはんに行くことも。みんなとても仲が良かったですよ。
競技かるたには1対1だけでなく3対3という団体形式もあるんです。黙々と戦う個人戦もいのですが、「取れるよ」「ナイス!」と、声を掛け合って、チーム一丸になれる団体戦も楽しいですね。私たちの目標は、毎年夏に開催される全国大学かるた選手権大会の団体部で1戦でも多く勝つこと。今年は残念ながら初戦敗退でしたが、すでに来年に向けて、一人ひとりが能力強化を意識しながら特訓しています。



favorite

先生のお気に入り
マンドリンと
大学時代の楽譜

第十回 社会福祉学部 社会福祉学科教授
緒方 由紀 先生の巻



緒方 由紀(おがた ゆき)
兵庫県生まれ。神戸大学大学院教育学研究科修了後、自治体での勤務を経て、1999年より本学に赴任。専門は精神保健福祉論、社会福祉方法論。主な著書 論文に「精神保健福祉に関する制度とサービス」(分担、中央法規出版2015年)、『精神障害者の再定住化の方法と展開』(佛敎大学社会福祉学部「社会福祉学部論集」第9号、2013年3月)など。

いつも私の近くにあった大切な音楽

大学ではマンドリンクラブに所属していました。マンドリンはイタリア発祥の弦楽器で、奏法を変えることで異なる音色が出せることが魅力です。オリジナル曲だけでなくクラシックや映画音楽、童謡、歌謡曲など演奏するジャンルは広く、年数回ある演奏会の曲が決まると総譜(スコア)をたどりながら、自分のパートを丁寧に五線譜に書き写し、「パート譜」を作成することが大事な作業になります。

これは卒業ステージで演奏した「協奏的幻想曲カルメン」のパート譜です。私がスコアから写譜をしました。原曲は、ビゼー作曲のオペラ「カルメン」で、マンドリンオーケストラ用に編曲されたものです。譜面上にはgiocosoやpiacereなどの表情記号もあればgliss や cadenze といった奏法なども描かれています。練習が



始めると、指揮者や技術指導の先生からの細かい指摘事項も、楽譜にどんどん書き加えられていきます。音の追加や奏法の変更、運指といった弦を押さえる指の番号、曲の終わりに「余韻」や「消音」など、何色ものペンでまるで暗号のように書きこんでいくことで、奏者の中で共通のイメージができあがり譜面自体もそれなりに曲として仕上がっていきます。

この曲をどうしても弾きたくて、クラブでの練習はもちろん、授業の合間にも部室で弾いていました。指導を受けていた先生はマンドリン作品を多く手掛けたプロの奏者で、技術面でも演奏中の態度にも厳しい方でした。合奏では「人の音をよく聴け」と何度も言われました。指揮を見るだけでなく各パートの音を聴き、音量やテンポ、タイミングを合わせ、曲全体に表情がついて完成に近づいていく。そうした個々の集中力と表現力が本番の演奏につながり、ひとつの音楽が作られていきます。久々に取り出したこの楽譜を見ると、当時の思いがよみがえってきますね。



ベトナムで チェンジにチャレンジ!

エースコック株式会社 海外事業部
(エースコックベトナム株式会社 マーケティング本部長)

籠嶋 茂人さん

佛教大学社会学部社会学科卒業

前向きな気持ちで夢を実現した。海外勤務は大学時代からの夢で即席麺メーカー、エースコック株式

会社の籠嶋茂人さん。2013年12月からエースコックベトナム社に就任し、マーケティング本部長として勤務している。採用試験の面接の際には既に「フランクな雰囲気自分に合う」と感じたというエースコックで、当初は営業として活躍。明るい性格と行動力を武器にした仕事ぶりは、大手ビジネス誌でも紹介された。その後、マーケティング部門へ。未経験だったが、独学で実地に学び、「わからないことは何でも、先輩後輩問わず聞きまわした」と、常に謙虚な姿勢を崩さなかった。そして、念願叶ってベトナムへ。突然の辞令にも「なんとかなる!」と、乗り切ってきた」と笑うが、決して生半可な気



「ベトナム人は真面目な国民性で、プライドが高く、与えられた仕事を一生懸命する勤勉さがある。ただ、商品のコンセプトや目的、ターゲットをもちと明確に理解し、最後まで自分が関わった商品に愛着を持ってくれば、会社はもっとよくなると思います」と。タイムラインに配慮しながら、中長期的な視野を常に持つよう、計画的業務推進を促してきた。また変革の途すが「意識は変わりつつある」と、確かな手ごたえをつかんでいる。

「仕事は楽しく」もモットーのひとつ。「大学のときに所属学科の卒業記念パーティーを企画したんですが、参加した同級生から「ありがとう」と言われたのが忘れられません」。自分が楽しんでいたことが、人の喜びにもなる、そう気づかされた。授業で学んだ会社経営のいろは、海外遊学で得た知識とともに、大学時代での学びが今に活かしている。

B-ism

2015
December

Listen UP OB OG 訪問



籠嶋 茂人(かごしましげと)

1969年奈良県生まれ。1993年に佛教大学社会学部卒業後、エースコック(株)に入社。名古屋、大阪、東京(広域量販担当)で19年間営業畑を歩んだ後、マーケティング部商品開発グループで同社の全商品のブランドを担当。2013年12月より現職。

持ちで取り組んできたわけではない。現状に甘んじることなく、「チェンジにチャレンジ」という前向きなスタンスで、結果を残してきた。

従業員の意識改革に注力

籠嶋さんは、ベトナムでは商品開発からデザイン、国内・海外のマーケティング戦略まで、幅広い業務を担いながら、経営メンバーとしても活動している。これまで、子供向け商品を成功に導き、テレビCMのあり方にも一石を投じるなど、常に新しいことに挑戦しているが、実は最も注力してきたのは、従業員の意識改革だ。

学生時代に構築した仕事への姿勢

「仕事は楽しく」もモットーのひとつ。「大学のときに所属学科の卒業記



江戸時代の宗教移民

「今で言う『歴女』でした。歴史の楽しさに目覚めた頃を思い返す、井上幸子さん。「お寺好き、仏像好きだった」という中高生時代を経て、地元茨城県の大学へ。近代仏教の社会活動を追究した。卒業後は、高校の日本史教員、遺跡発掘の仕事などに従事し、現在は大阪在住。国立民族学博物館での勤務の傍ら、本学の通信教育課程大学院で日本史を学んでいる。研究テーマは、近世の「宗教移民」。修士論文の執筆は佳境に入っている。

研究のきっかけは、ある自治体史編纂に携わっていたとき。「原稿の依頼を受け、お寺と村の関係について調べたんです。調査の過程で古文書に現れたのが、「八百姓(いりびやくしやう)」と呼ばれる人たち。江戸時代、人口減少や荒地地などに悩む領主が、他村から移住させて耕作にあたらせた農民のことで、中でも井上さんは、北陸から北関東にやって来た、浄土真宗門徒の動向に惹かれた。「真宗門徒の多くが移住先に定住するんですが、その要因は従来、信仰に導かれた彼らの真面目さや忍耐力だと言われてきた。でも、定着の



修士論文が終わっても、もちろん今後も研究を続けていく。「私にとって研究や論文は、日常のちょっとした瞬間にひらめいた妄想を証明すること。そしてそれは自分の生きた証し。今は、早く次を書きたいですね。」



自分の生きた証しを 研究で残したい

通信教育課程大学院文学研究科 日本史学専攻修士課程2回生

井上 幸子さん

理由としては弱い」。論文を公表するまで内容は「企業秘密」だが、井上さんは、「僧侶の役割」に注目した。

心動いた「村を忘れるな」

一度興味を持つと止まらなかつた。独自に史料を探し、徹底的な調査を開始したが、「学会や大学に所属した方が、研究を進めやすい」と本学大学院へ進学。実は、学部生の頃に史料調査で図書館を訪れ、仏教関連書の豊富さに好印象を抱いていたことが決め手になったという。前期はスクーリング、後期は通学課程の授業の聴講と、大学に来る機会をフル活用し、研鑽を積んできた。指導は主に、渡邊忠司教授に仰ぐ。「先生の『寺院を調べるなら、それが村を忘れるな』という言葉は大きかった。実際に、村の史料に関連事項があった。視野を広げることの重要性を再認識した。丹念に古文書を紐解く一方で、発表の場にも積極的に参加。学内だけでなく、海外の学会でも自身の研究成果を伝え、論文に深みを与えてきた。「大学や学会での討論からは、自分が気づけなかつた視点をもらい、動機先では世界的視野のいい刺激を受け、研究に良い化学反応が起きていると感じています。」

論文は仕上げの段階。自説の正しさを論じられたと、笑顔を見せる。モットーは、「ひたすら史料にあたること、そして『人との出会いは、時空を超えて』ですね。古文書を読むと必ず鍵となる名も無き人が登場し、自分を導いてくれる、そんな感覚を何度も味わってきたという。



5 礼拝堂の地鎮式・起工式を挙

紫野キャンパスで10月27日、礼拝堂新築工事の地鎮式・起工式を執り行いました。田中典彦学長導師による法要のあと、学校法人佛教教育学園豊岡隼理事長、田中校長らの挨拶がありました。

礼拝堂は2016年度中の完成を目指しており、法然上人の御教えを涵養する場として、新しい大学のシンボルとなります。実践仏教の道場や様々な教育活動・学生活動に利用していく予定です。また、本学の発展に尽力された故水谷幸正先生の功績を称え、名称を「礼拝堂（水谷幸正記念館）」とすることを決定しました。



4 第49回鷹陵祭を開催

10月30日～11月1日の3日間、第49回鷹陵祭が、紫野キャンパスで開催されました。今年は、鷹陵祭を通して普段接することのない人たちの距離がぎゅゅと近づきかけになればという思いを込め、「ぎゅゅ」と、佛大というテーマが掲げられました。サークルや学生団体の各種企画、模擬店に加え、リニューアルされた中庭のステージでは、ダンスの披露や「MR. BUTSUDA」「MS. BUTSUDA」といった企画があり、連日多くの方に来場いただきました。そのほかGalileo Galileiによるゲストコンサートライブなども行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

7 通信教育課程のWebサイトをリニューアル



通信教育課程公式Webサイト
<http://tsushin.bukkyo-u.ac.jp/>

本学の創立記念日である10月23日、通信教育課程の公式Webサイトをリニューアルいたしました。

新規コンテンツの「佛教大学通信教育課程が支持される10のポイント」では、通信教育課程の魅力やわかりやすく紹介。また、「通信教育クロストーク」では、教員や在学生による通信教育のまめ知識や、学びに関するコラムを配信しています。今後も新しいコンテンツを作成し、より深く通信教育課程の魅力を発信していく予定です。ぜひご覧ください。

6 佛教大学附属幼稚園 創立40周年記念式典を開催



佛教大学附属幼稚園が今年で創立40周年を迎え、記念式典を開催しました。式典は始めに献灯・献香・献花、来賓の挨拶があり、続いて音楽会を行いました。

音楽会では園児たちが日頃練習している歌や合奏を披露、出席者全員で40周年を祝いました。

1976（昭和51）年に園児16名でスタートした附属幼稚園は、豊かな自然の残る広沢池（京都市右京区）に隣接しており、現在約200名の園児が在籍しています。

2 陸上競技部女子中長距離部門



10月25日に宮城県仙台市で行われた第33回全日本大学女子駅伝対校選手権大会では、18位という結果に終わりました。12月30日（水）に静岡県富士宮市・富士市にて行われる2015全日本大学女子選抜駅伝競走では、上位入賞を目指し頑張りますので、ご声援のほどよろしくお願い致します。

■第92回関西学生陸上競技対校選手権大会

| | | |
|----------|----|-------|
| 1500m | 3位 | 落合 沙紀 |
| 5000m | 8位 | 成岡 千夏 |
| 5000m | 5位 | 勝木 順子 |
| 10000m競歩 | 優勝 | 岡崎 希実 |
| 3000m障害 | 7位 | 平井 涼子 |

Record

(5月14日～17日 於:ヤンマースタジアム長居)

■第25回関西学生対校女子駅伝競走大会

1時間43分08秒 5位
(9月26日 於:神戸しあわせの村)

■第33回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

2時間12分24秒 18位
(10月25日 於:仙台市陸上競技場)

【試合予定】.....

■2015全日本大学女子選抜駅伝競走

12月30日(水)於:静岡県富士宮市～富士市 10時スタート
(テレビ放映(フジテレビ系列) 当日 9時50分～12時40分)

1 硬式野球部



今年度京滋大学野球連盟春季・秋季リーグ戦では京都学園大学にいずれも最終節にて敗れ、優勝を逃しました。

来年度は春・秋リーグ制覇、全日本大学野球選手権大会・明治神宮野球大会での上位入賞を目指し、チーム一丸となって練習に励んでいきますので、今後ともご声援のほどよろしくお願い致します。

■2015年度京滋大学野球連盟リーグ戦

Record

春季リーグ戦 8勝3敗(準優勝)

敢闘賞 木村 匠
新人賞 山崎 雄大
ベストナイン 木村 匠(投手)、小邨 義和(一塁手)、山崎 雄大(二塁手)、南 拳人(外野手)、菊池 勇志(指名打者)

秋季リーグ戦 8勝2敗(準優勝)

敢闘賞 木村 匠、日比 翼
首位打者 日比 翼
ベストナイン 金丸 竜也(捕手)、日比 翼(外野手)

3 学生がカフェをオープン!



全学共通科目「キャリア開発応用2」・「キャリアイクステンション」の授業の実践として、「コミュニケーション」キャンパス北野「ゆいま〜る」(京都市北区、北野商店街内)で、学生が期間限定のカフェをオープンしました。

前半グループ「はちカフェ」(8月19日～25日)は、もち肉のコンフィやハンバーグなど本格的なフードメニューが、一部売り切れになるなど大好評でした。後半チーム「小澤珈琲」(8月29日～9月4日)は、お客さんの目の前で淹れるこだわりのコーヒーに加え、「名探偵コンテンツ」というイベントを企画するなど、くつろぎながらも楽しんでもらえる店づくりに取り組まれました。


通信教育課程に関するお知らせ 2016(平成28)年度前期 通信教育課程入学説明会

参加申込は不要です。多数のご来場をお待ちしております。

| 開催日 | 開催時間 | 開催地 | 開催会場 | 種別※ |
|----------|-------------|------|------------------------|-----|
| 1月23日(土) | 13:00~16:00 | 京都 | 佛敎大学(紫野キャンパス) | 単独 |
| 1月30日(土) | 12:00~17:00 | 仙台 | 仙台市情報・産業プラザ アエル5階 | 合同 |
| 1月31日(日) | 11:00~16:00 | 東京 | 国際フォーラム ホールB7 | 合同 |
| 2月6日(土) | 12:00~17:00 | 横浜 | 横浜新都市ビル(そごう) 9階 新都市ホール | 合同 |
| | | 名古屋 | 名古屋国際会議場 | 合同 |
| 2月7日(日) | 11:00~16:00 | 大阪 | 梅田スカイビルタワーウエスト 10階 | 合同 |
| 2月14日(日) | 11:00~16:00 | 金沢 | 金沢勤労者プラザ | 合同 |
| 2月20日(土) | 12:00~17:00 | 大阪 | 梅田スカイビルタワーウエスト 10階 | 合同 |
| | | 岡山 | イオンモール岡山 | 合同 |
| 2月27日(土) | 13:00~16:00 | 札幌 | アスティ45ビル 4階 | 合同 |
| | | 福岡 | エルガーラホール 8階 | 合同 |
| 2月28日(日) | 11:00~16:00 | 京都 | 佛敎大学(紫野キャンパス) | 単独 |
| | | さいたま | 大宮ソニックシティ B1階 第一展示場 | 合同 |

※種別について
 単独:本学単独の入学説明会です。はじめに全体説明会を20分間行い、その後個別相談をお受けします。なお、個別相談は先着順となりますので、予めご了承ください。
 合同:私立大学通信教育協会主催の合同入学説明会です。先着順にて個別相談をお受けします。

宗教文化ミュージアム イベントカレンダー(2016年1月~3月)



宗教文化ミュージアム
 宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

開館時間 10:00~17:30(※入館は17:00まで)
入館料 無料
休館日 ホームページ等でご確認ください

アクセス

- JR京都駅より京都市バス、「山越」より徒歩13分
- 三条京阪前より京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢駅前」すぐ
- 佛敎大学紫野キャンパスより京都市バス、「山越」より徒歩13分、「広沢池・佛大広沢駅前」すぐ

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム
 〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
 TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121

| | |
|--------------------------|--|
| 2016年 1月23日(土) 13:00~ | 第30回シアター公演「 精進食とベジタリアン運動 」 出演:東四柳 祥子 氏(梅花女子大学食文化学部専任講師)、山崎 紹耕 氏(花園大学/相愛大学 非常勤講師) 田谷 昌弘 氏(万寿山聖福寺住職・元萬福寺典座)、岩佐 明子 氏(日本ベジタリアン協会理事、獣医師) 解説:小野田 俊蔵(本学歴史学部教授、本館館長) |
| 2月6日(土)~3月5日(土) | 冬企画展 「 佛大逍遙Ⅲ —石橋誠道(いしばしかいどう)— 」 |

2016年4月以降のスケジュールは、2016年3月中旬頃にホームページに掲載予定です。

B-ism
2015 December

今号は海外で頑張っている方に多く登場していただきました。留学生や佛敎大学ロサンゼルス校プログラム参加者、ベトナムで活躍する卒業生など、海外での勉強や仕事について、生き生きと語っていただきました。
 テレビや新聞で報道される「グローバル」は、何か大きくて難しいもののように思われますが、基本は人と人。日本であって海外であって、互いの違いを認め、理解しようとする気持ちが、いばんな大切なだと改めて感じさせられました。

佛敎大学広報課

平成28年度 入学宣誓式

Date
4 / 1
(fri.)

学位記、卒業証書授与式(通信教育課程)

Date
3 / 25
(fri.)

学位記、卒業修了証書授与式(3月卒業修了)

Date
3 / 18
(fri.)

修正会・始講式

Date
1 / 6
(wed.)

B-information

みんなの掲示板

2016年 主な行事予定

佛敎大学公式Facebookページを開設しています!

公式ホームページとともに大学の情報を発信しています。ソーシャルメディアを活用することで、より広く、そして佛敎大学の今をお知らせします。ぜひご覧ください。



【公式FacebookURL】
<http://www.facebook.com/bukkyo.univ>

読者プレゼントの **お知らせ**

佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。同面添付のアンケートハガキにてご応募ください。

10名様

第8回佛敎大学小学生俳句大賞 入賞作品集

5名様

スクールバス特注 トミカ

第9回佛敎大学小学生俳句大賞

作品募集 応募締切 2016年1月31日必着

詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.bukkyo-u.ac.jp/haiku/>

第8回 最優秀賞作品

低学年の部 つばきカフェめじろの間ではやってくる 京都府 京都教育大学附属京都市立小学校2年 福井 玲佳

高学年の部 指揮する手夏の大小三角形だ 宮城県 仙台市立吉成小学校4年 横溝 麻志穂

テーマは自由! どんな俳句でもOK!

| 入試に関するお知らせ 2016(平成28)年度 佛敎大学入学試験日程 | | |
|------------------------------------|-------------------------|---|
| 一般入試A日程 | | |
| 試験日 | 出願期間 | 試験会場 |
| 2月1日(月)・2日(火)・3日(水) | 1月7日(木)~1月15日(金)(消印有効) | 本学(紫野キャンパス)・東京・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・奈良・和歌山・米子・広島・高松・福岡 ※試験会場によって試験実施日が異なります。 |
| 一般入試B日程 | | |
| 試験日 | 出願期間 | 試験会場 |
| 3月5日(土)・6日(日) | 2月13日(土)~2月20日(土)(消印有効) | 本学(紫野キャンパス)・名古屋・彦根・大阪・神戸・岡山 |
| 大学入試センター試験利用入試(前期・後期) | | |
| 試験日 | 出願期間 | 試験会場 |
| 前期 ◎センター試験日 | 1月7日(木)~1月15日(金)(消印有効) | ※個別学力検査等は実施しません。 |
| 後期 | 1月16日(土)・17日(日) | 2月13日(土)~2月29日(月)(消印有効) ※個別学力検査等は実施しません。 |
| 大学院・編入学・社会人・別科等の入試 | | |
| 試験日 | 出願期間 | 試験会場 |
| 2月21日(日) | 1月12日(火)~1月22日(金)(消印有効) | 本学(紫野キャンパス) |